

科目名	24. 生活行動がしづらいからだⅢ 心身のバランスを整えるしくみ 子どもを生む				
履修年次	1年次	科目区分	専門基礎科目	単位数 (時間)	1単位 (30時間)
ディプロマポリシー(DP)	<input type="checkbox"/> 人を大切にするところ <input checked="" type="checkbox"/> 現象を適切に把握し地域で生活する人を支える看護実践力 <input type="checkbox"/> チームの中で連携・協働するための力 <input type="checkbox"/> 専門職業人として自己研鑽する力				
科目目標	<p>人体の恒常性維持のための調節機構（液性調節、ストレス反応）の基本的なしくみが障害された場合や生殖を支えるホルモン異常の場合に起こるからだの反応と治療過程を理解することができる。また、それらが生活行動に及ぼす影響を理解することができる</p>				
到達目標	<p>人のからだに関心をもちながら、恒常性維持のためのホルモンのしくみの障害とそれを整えるための方法について説明でき、生活行動への影響について表現することができる</p>				
評価方法	筆記試験（100点）				
使用テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 内分泌・代謝 成人看護学⑥ 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 女性生殖器 成人看護学⑨ 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の基礎 精神看護学① 医学書院				
参考文献	看護形態機能学 生活行動からみるからだ 日本看護協会出版会				
教育方法と学生への期待(求めること)	<p>よりよい看護を実践するためには疾患の病態生理や治療について知識を有していることが必須です。ここでは、人間の生活行動を支えるからだの恒常性維持、体内の物流システムを使い、遠隔の効果器に情報を伝える液性調節（内分泌）、刺激に対するストレス反応が障害された場合、生殖を支えるホルモンが異常をきたした場合に起こる症状および疾病のメカニズム、診断に用いる検査や治療・処置などについて理解し、生活行動に及ぼす影響を考える。また、精神・心身の疾患のメカニズム、診断に用いる検査や治療・処置などについて理解し、生活行動に及ぼす影響を考えて欲しい。</p> <p>受講にあたっては、教科書での予習・各回の講義の復習を十分行うこと。『生活行動から見るからだ』『病気の原因と回復過程』の復習をして講義に臨み、理解を深めて欲しい。</p>				
回	学習項目	学習内容			授業方法
1	遠隔への情報伝達が障害された時の症状	体重変化・身長異常、容貌の変化、神経・筋症状			講義
2	遠隔への情報伝達障害①	視床下部：巨人症、尿崩症、下垂体腫瘍の病態生理・診断と検査・治療 甲状腺：バセドウ病、甲状腺腫瘍の病態生理・診断と検査・治療			講義

3	遠隔への情報伝達障害 ②	副甲状腺：副甲状腺機能亢進・低下症の病態生理・診断と検査・治療 副腎：クッシング症候群、褐色細胞腫の病態生理・診断と検査・治療	講義
4	代謝の障害	糖尿病の病態生理・診断と検査・治療 脂質異常症の病態生理・診断と検査・治療 メタボリックシンドローム	講義
5	女性生殖器が障害された時の症状	出血、帯下、疼痛、外陰部掻痒感、自律神経症状、不定愁訴	講義
6	女性生殖器の障害①	性腺：月経異常、更年期障害、不妊症の病態生理・診断と検査・治療	講義
7	女性生殖器の障害②	女性生殖器：子宮筋腫、子宮内膜症、卵巣嚢腫の病態生理・診断と検査・治療 腫瘍：乳がん、子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がんの病態生理・診断と検査・治療	講義
8	精神が障害された時の症状	幻覚、妄想 抑うつ状態、躁状態、興奮状態、依存状態、不安状態、強迫行為	講義
9	精神の障害①	統合失調症の病態生理・診断と検査・治療	講義
10	精神の障害②	気分障害の病態生理・診断と検査・治療	講義
11	精神の障害③	神経症性障害、ストレス関連障害、身体表現性障害の病態生理・診断と検査・治療	講義
12	精神の障害④	依存症、パーソナリティー障害の病態生理・診断と検査・治療	講義
13	精神の障害⑤	摂食障害、発達障害の病態生理・診断と検査・治療	講義
14	遠隔への情報伝達が障害された	更年期障害（症状）があると生活の何がしづらくなる？	演習
15	精神が障害された	精神症状（幻覚）があると生活の何がしづらくなる？	演習